

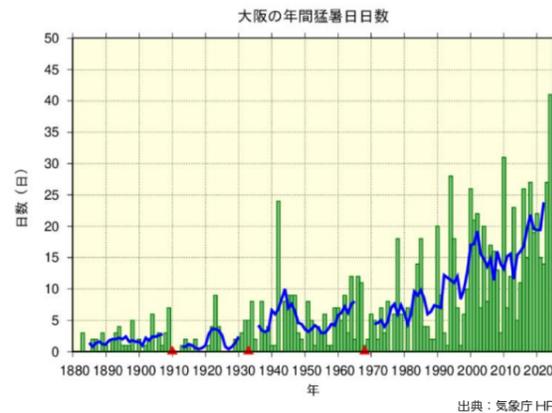
# 大阪市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕(改定計画) 第3版 概要版

一人ひとりが地球温暖化問題を自分事として捉え、行動を起こすことが重要です。みんなで脱炭素行動に取り組み、「ゼロカーボン おおさか」を実現した大阪市を、一緒に作り上げていきましょう。

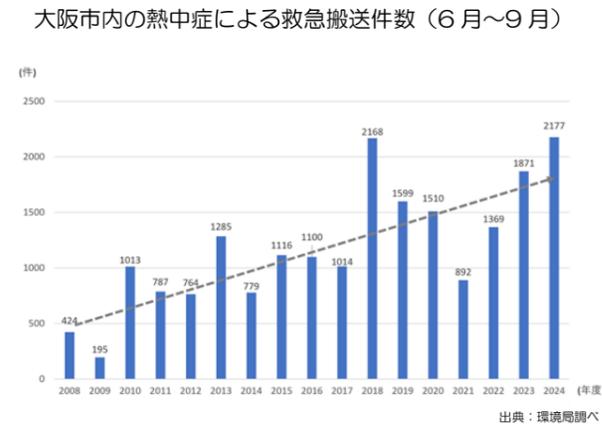
## 1 地球温暖化の影響による気候変動は、目に見える形で私たちの前に現れています

わが国の年平均気温の上昇は世界平均よりも速く進行しており(世界の平均気温上昇0.79℃/100年、国内平均1.44℃/100年、大阪2.1℃/100年。出典:気象庁HP)、真夏日や猛暑日、熱中症のリスク増加、各地で発生する豪雨被害など、気候変動によると思われる自然災害の増加に伴う経済損失や保険損害も増加しています。また、海水温の上昇、海流の変化等により、サンマ、スルメイカ、サケといった主要魚種の不漁が長期化しているなど、私たちの社会や生活に様々な影響を及ぼしています。皆さまも身に染みて地球温暖化の影響を感じておられるのではないでしょうか。

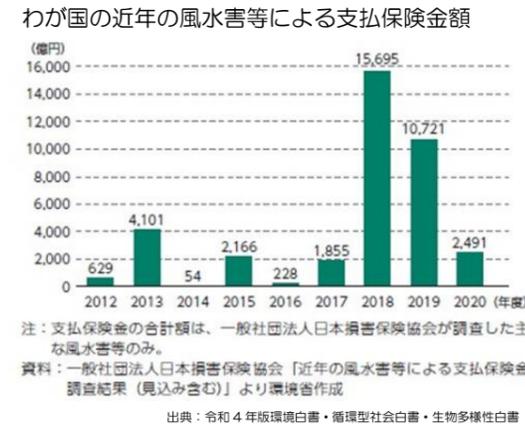
猛暑日(日最高気温35℃以上)の日数は増加傾向。



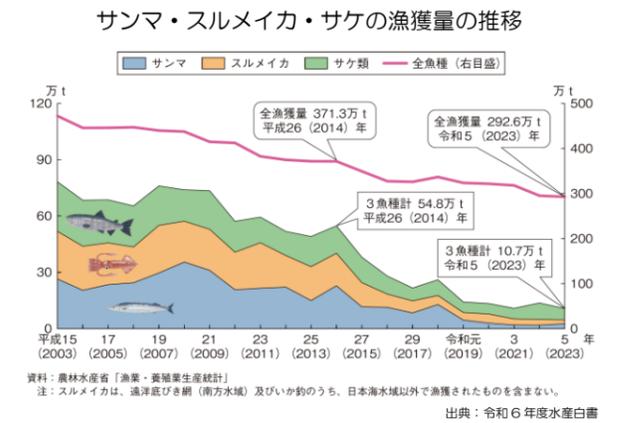
熱中症救急搬送件数は2000件を超過。



風水害等による支払保険金額が増大。



サンマなど主要魚種の不漁が長期化。



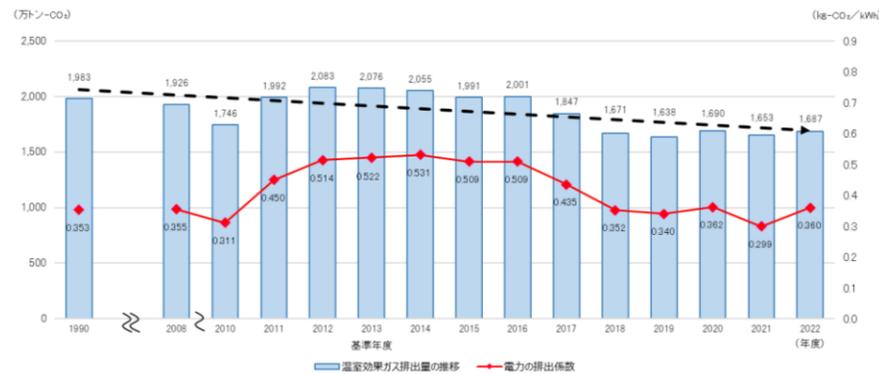
## 2 大阪市の温室効果ガス排出量は、近年下げ止まっており、その2分の1は「業務」と「家庭」から排出されています

2022年度の温室効果ガス排出量は、1,687万トン-CO<sub>2</sub>となっています。基準年度である2013年度比で約18.7%減と、近年は下げ止まっています。

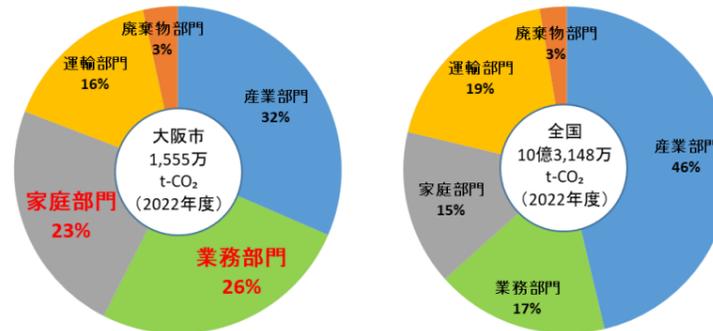
部門別排出状況は、民生部門(業務部門(オフィスや商業施設など)及び家庭部門)の割合において2分の1を占めており、大阪市の方が全国平均より高くなっています。

2022年度のエネルギー消費量は、基準年度である2013年度と比べると、産業部門は7.3%、業務部門は16.5%、運輸部門は17.2%の減少にとどまり、家庭部門では5.4%の増加となっています。

大阪地域における温室効果ガス排出量の推移

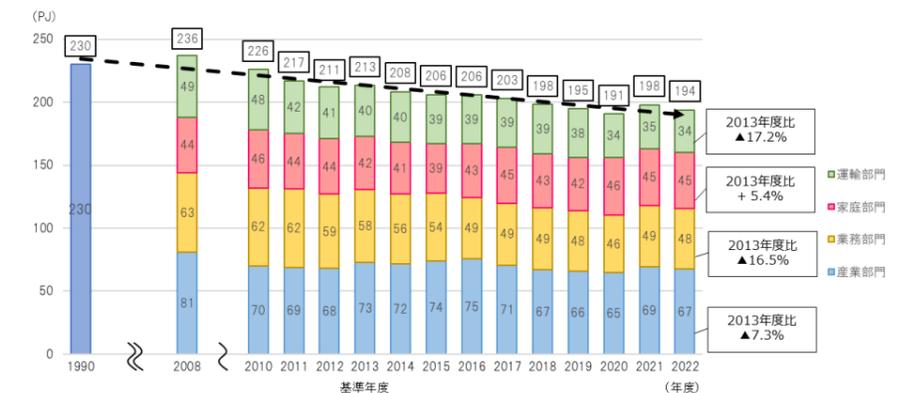


CO<sub>2</sub>の部門別排出状況(2022年度)



出典:国立環境研究所「日本の温室効果ガス排出量データ(1990~2023年度)確報値」を元に、大阪市環境局で作成。

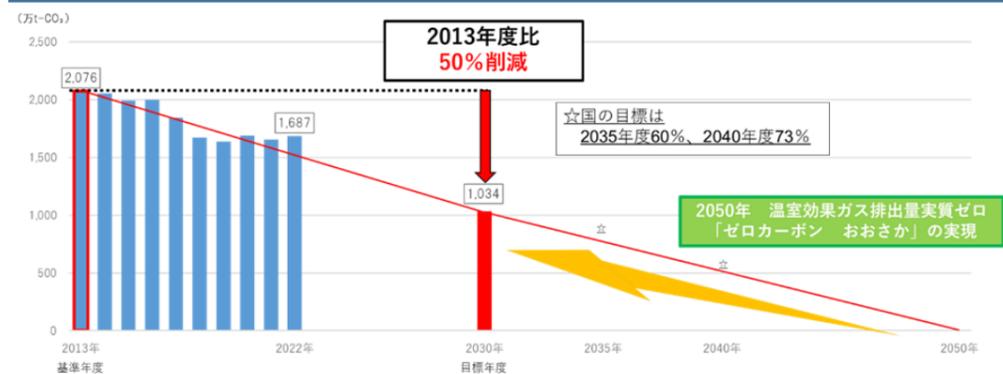
大阪地域におけるエネルギー消費量の推移



取組の強化が必要

3 2050年の「ゼロカーボン おおさか」の実現に向け、2030年度の温室効果ガス排出量の50%削減（2013年度比）をめざします

2030年度目標 2013年度比 **50%削減**



■めざす姿とストーリー  
2050年にめざす姿：ゼロカーボン おおさか



■「ゼロカーボン おおさか」に向けたスキーム



4 「業務」や「家庭」を主な対象とし、新たな施策パッケージ「ネクストグリーンプロジェクト」を推進します

省エネ促進事業、創エネ普及拡大事業、次世代モビリティ普及拡大事業及び行動変革促進事業を取組の柱とし、2025年大阪・関西万博で披露されたペロブスカイト太陽電池や水素利活用技術などの最先端技術の実装化や、住まいやオフィス等、市民生活・企業活動における省エネ行動の促進や再生可能エネルギーの普及拡大など、新たな施策パッケージ「ネクストグリーンプロジェクト」を、年次計画的に推進していきます。



大阪・関西万博ペロブスカイト太陽電池 (提供：積水化学工業株式会社)

★1 省エネ促進事業

事業名	事業概要
中小企業の省エネ・省CO <sub>2</sub> 加速化支援事業	省エネ設備の導入及び省エネ診断への補助、J-クレジット化の活用検討
住宅の脱炭素化促進事業	住宅の窓・扉の高断熱化や高効率給湯器・蓄電システム等の導入補助、J-クレジット化の活用検討

★2 創エネ普及拡大事業

新たな手法による太陽光発電導入支援事業	新たな場所等に太陽光発電設備を導入する事業者への設備導入補助
帯水層蓄熱システム導入支援事業	帯水層蓄熱システムを導入する事業者への事前調査、設備導入補助
ペロブスカイト太陽電池導入促進事業	早期の社会実装実現のため、市内の民間施設等への導入補助

★3 次世代モビリティ普及拡大事業

FC商用車導入補助事業	FC商用車 (FCTラック) を導入する事業者への補助
水素ステーション整備補助事業	水素自動車普及拡大の課題であるステーションの増設に向けた補助
CEV導入補助事業	CEV (FCV・EV・PHV) の購入費用の補助、災害時の給電に活用

★4 行動変革促進事業

脱炭素化普及啓発促進事業・環境学習事業	事業者向けのセミナーや市民向け環境学習・普及啓発を実施
緑化・緑地保全	市内において貴重な緑を確保するため、緑化や緑地保全に係る取組に活用

グリーントランスフォーメーション (GX)

世界各国では脱炭素化への取組を加速しており、その取組を通じて経済成長や産業競争力の強化をめざす動きが急激に強まっています。また、GX実現の成否が企業・国家の競争力を左右する時代に突入しています



出典：経済産業省HPを元に、大阪環境局で作成

5 計画目標の達成に向けた5つの「まち」を形成します (★は、ネクストグリーンプロジェクトを含む施策)

脱炭素なエネルギーで暮らすまち	脱炭素マインドに満ち溢れ、脱炭素な行動が浸透したまち	脱炭素化のしくみを組み込んだ持続可能なまち	多様なきずなを活かし、脱炭素化をリードするまち	気候変動への備えがあるゆるぎないまち
再生可能エネルギーの普及拡大と徹底した省エネルギー化に取り組みます。  市役所本庁舎に設置した太陽光発電設備 (脱炭素先行地域づくり事業)	より環境性能に重点を置いた消費行動へ転換を図ります。  「脱炭素アクション」リーフレット	環境技術の実装されたまちづくりをとおり、SDGs達成に貢献する持続可能なまちづくりを加速させます。  御堂筋周辺地区 (脱炭素先行地域)	大阪시가培ってきた様々なネットワークを活かし、脱炭素社会の構築を進めます。  海外の大型商業施設への省エネ技術導入事例 (ベトナム)	堅牢でレジリエンスの高い、持続可能なゆるぎないまちを創りあげます。  V2Xの普及促進
<b>施策</b>	<b>施策</b>	<b>施策</b>	<b>施策</b>	<b>施策</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生可能エネルギーのより一層の普及拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太陽光発電の導入促進★<sup>2</sup></li> <li>■ 帯水層蓄熱システムの普及拡大★<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>● 未利用エネルギーの徹底した活用</li> <li>● 水素などの新たなエネルギーの活用、拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 産学官の連携による水素利活用の取組</li> </ul> </li> <li>● 次世代自動車の普及拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ EVの普及拡大に向けた取組★<sup>3</sup></li> <li>■ FCVの普及拡大に向けた取組★<sup>3</sup></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ライフスタイルやワークスタイルの変革                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ テコ活の推進★<sup>4</sup></li> </ul> </li> <li>● 環境教育・普及啓発の推進</li> <li>● エネルギー消費の抑制                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高効率機器の導入拡大★<sup>1</sup></li> </ul> </li> <li>● 建築物の省エネ化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 住宅における省エネ化の促進★<sup>1</sup></li> </ul> </li> <li>● 事業活動の脱炭素化に向けた自主的な取組みの促進</li> <li>● 大阪市の率先行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境技術の実装されたまちづくり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 御堂筋周辺地区 (「脱炭素先行地域」の創出)</li> </ul> </li> <li>● みなとの脱炭素化</li> <li>● 下水道事業における脱炭素化</li> <li>● 移動の脱炭素化</li> <li>● 省資源と資源循環の促進</li> <li>● 海洋プラスチックごみの汚染ゼロに向けた取組</li> <li>● 吸収源対策の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 緑地の保全、緑化の推進★<sup>4</sup></li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境・エネルギー産業の振興とあらゆる事業者の持続的成長                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新たな省エネルギー・脱炭素技術の普及拡大</li> </ul> </li> <li>● 地域間の連携を基盤とした域外貢献</li> <li>● 都市間協力の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 英国グレーター・マンチェスターとの連携</li> </ul> </li> <li>● 官民連携による海外展開の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 企業の海外進出機会の提供</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動への適応に向けた施策の充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 適応策に資する大阪市施策の整理</li> </ul> </li> <li>● 気候変動への適応に向けた取組                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生物多様性分野における気候変動への適応</li> <li>■ グリーンインフラストラクチャーの推進</li> </ul> </li> <li>● 気候変動やヒートアイランド現象による暑熱環境悪化への対策</li> <li>● エネルギーインフラの拡充によるレジリエンスの強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電力需給調整力の強化等に向けたV2Xの普及促進</li> </ul> </li> </ul>